

1 本校の教育目標

心身ともにすこやかで 進んでやりぬく たくましい子どもを育てる。

校訓	みずから学ぶ	かしこい子	めざす子どもの姿	笑顔あふれる	三吉っ子
	すなおで	心ゆたかな子		あいさつのできる	三吉っ子
	じょうぶで	たくましい子		前向きにがんばる	三吉っ子

2 学校経営方針

『子ども、保護者、地域、職員にとって、明日が待たれる「笑顔あふれる学校」をつくり上げる』

キーワード【😊笑顔😊】～4Kをめざす共通意識をもって～

- ◆子どもが「通いたい」と思える学校
- ◆保護者が「通わせたい」と思える学校
- ◆地域の方が「関わりたい」と思える学校
- ◆教職員が「勤務したい」と思える学校

- (1) チーム学校のための協働体制の充実
- (2) 子どもが主体となる教育活動をとおして、確かな学力を身につけ共に学び合おうとする子どもの育成
- (3) 温かな人間関係の構築を図り、心の居場所づくりと豊かな情操の育成
- (4) 安全で安心して生活できる教育環境の整備

3 本年度の重点努力目標

(1) チーム学校のための協働体制の充実

- ・教職員相互の信頼と尊敬を基盤とする、互いに支え合う活気に満ちた協働体制をつくる。
- ・すべての職員の心身の健康を第一に考え、互いに補い合う協働体制をつくる。
- ・学校外の組織・人材を幅広く取り入れ、活力と包容力のある学校をめざす。
- ・すべての職員が本校の教育活動へ主体的に参画できる機会・雰囲気確保する。

(2) 子どもが主体となる教育活動をとおして、確かな学力を身に付け、共に学び合おうとする児童の育成

- ・主体的・対話的で深い学びを基盤とした「個別最適な学び」と「協働的な学び」を展開し、個に応じた学びを進めつつ、他者と関わりながら学び合える、子ども中心の授業を推進する。その際には、一人一台端末（タブレット）を手段の一つとして有効活用する。
- ・国語科を中心とした授業研究を積み重ね、児童の言語力及び論理的な思考力と表現力を高め、他者と主体的に関わる意欲や自信へつなげる。
- ・授業のユニバーサルデザイン化を取り入れ、個々の違いを認め合いながら、分かりやすく、そして子どもたちの誰もが楽しいと感じられる授業を行う。
- ・各行事に意図的に子どもの活躍の場を増やし、子どもの自己有用感や自立心を高める。
- ・異学年交流や異校種等との交流に積極的に取り組み年齢や立場を超えた関わりからの学びを充実する。
- ・地域の特性、教育力を生かした教育実践の推進（コミュニティスクール）。地域の方や保護者が教育活動に参加する機会を増やすといった地域とともにある学校づくりに努める。

(3) 温かな人間関係の構築を図り、心の居場所づくりと豊かな情操の育成

- ・教育的愛情を注ぎ、自己肯定感をもつことのできるいじめの無い温かい学年、学級づくりに努める。
- ・「子どもを語る会」等をとおして、教職員の子ども理解、子ども支援の力量を向上するとともに、常に情報を共有し、すべての指導・支援を学校体制で行う風土をつくる。
- ・道徳教育を重視し、命や思いやりを大切に、助け合いのできる心豊かな子どもを育てる。
- ・読書への関心が高まる工夫をし、他者や地域・社会に目を向ける態度や言語能力を育てる。

(4) 安全で安心して生活できる教育環境の整備

- ・校地及び校舎における施設設備の機能を最大限に生かし、教育効果を高める。
- ・規範意識を定着させるために、子どもがまじりの意味を理解し自ら進んで守り、行動するという自律性を育む。
- ・「学習環境のユニバーサルデザイン化」に基づく、落ち着きのある整理整頓が行き届いた教室環境をつくる。
- ・自己管理能力を高め、健康・安全に関心をもち、健康・安全を子ども自身で守ろうとする態度を育てる。
- ・電子メディアの適切な利用の仕方を指導し、家庭と協力してよりよい生活習慣が身につくようにする。
- ・各種通信や学校ホームページ等により情報を積極的に発信し、地域・家庭との連携を深め、地域に愛され、地域とともにある学校づくりを推進する。
- ・行事と業務の精選により一層の職務の効率化に取り組み、時間外在校時間の削減を図る。